

県民一丸で暴力追放

羽島市で大会 宣言読み上げ

第34回暴力追放県民大会が10日、羽島市竹鼻町丸の内不二羽島文化センターで開かれ、関係者が暴力団根絶に向けて決意を新たに

した。県暴力追放推進センターと県警が毎年開いている。国枝玄副知事は「県民が被害者にも加害者にもならない

い、安心安全な社会を次の世代に引き継いでいこう」とあいさつした。

山口寛峰県警本部長は県内の暴力団勢力について、昨年末時点で過去最少の220人となっているものの「匿名・流動型犯罪グループ(匿名)に代表される外部委託の資金獲得活動な

ど、水面下での活動が活発になっている」と説明した。暴力団排除に長年尽力し



暴力団勢力排除の機運を高めた暴力追放県民大会。羽島市竹鼻町丸の内、不二羽島文化センター

た団体や企業に対する表彰に続き、出席者全員で大会宣言を読み上げた。

プロアクト法律事務所(東京都)の福田恵太弁護士による、特殊詐欺被害者の救済活動に関する講演もあった。

(安井真由子) 表彰を受けたのは次の皆さん。

▽県知事感謝状 丹羽修▽県警本部長・県知事の連名表彰 美濃建設業協会、有川幸孝、木村敏人、田中敦、堀雅博、山村和弘、吉澤信幸、脇田昌也▽県

暴力追放推進センター理事長感謝状 県自動車会議所、神戸町商工会、バローホールディングス、富国生命保険相互会社岐阜支社、高森正明、馬淵敏行、宮元智之、山中一弘